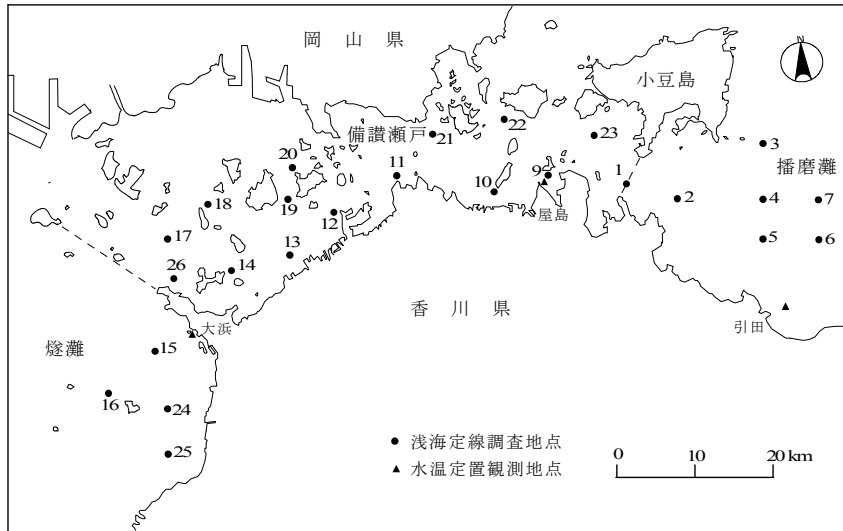


香川県漁海況速報 平成22年8月 (H22-5号)

香川県水産試験場

1. 海況

1) 観測地点



2) 浅海定線調査

(1) 調査日

平成22年8月3日（備讃瀬戸，燧灘），4日（播磨灘）

(2) 水質概況

平年と比較すると、水温及び塩分は「かなり低めからやや高め」、透明度は「平年並みからかなり高め」、溶存酸素は「やや低めからやや高め」であった。

8月

		水 温 (°C)			塩 分 (PSU)			透 明 度 (m)	溶 存 酸 素 (ml/l)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層		表層	底層
播 磨 灘	7地点平均値	25.9	24.6	21.6	30.9	30.9	31.3	7.7	4.49	3.85
	平年値	25.5	24.2	22.3	31.5	31.6	31.9	7.9	4.99	3.25
	平年偏差	0.4	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.58	0.58
	標準偏差(σ)	1.3	0.7	0.8	0.6	0.5	0.4	2.1	0.49	0.60
	状 況	平年並み	やや高め	やや低め	やや低め	かなり低め	かなり低め	平年並み	やや低め	やや高め
備 讃 瀬 戸	14地点平均値	25.6	25.1	24.8	31.5	31.6	31.6	6.8	4.43	4.34
	平年値	25.2	24.6	24.3	31.6	31.6	31.7	4.8	4.42	4.10
	平年偏差	0.4	0.4	0.4	0.0	0.0	-0.1	2.0	0.01	0.24
	標準偏差(σ)	1.0	0.9	0.8	0.6	0.6	0.6	1.3	0.38	0.38
	状 況	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	かなり高め	平年並み	やや高め
燧 灘	4地点平均値	28.7	23.2	21.1	31.5	31.9	32.3	10.8	4.74	3.23
	平年値	27.5	23.8	21.7	31.7	32.0	32.3	10.1	5.01	3.17
	平年偏差	1.1	-0.6	-0.6	-0.2	-0.1	0.0	0.7	-0.27	0.06
	標準偏差(σ)	1.7	0.9	0.9	1.0	0.6	0.5	2.1	0.47	0.72
	状 況	やや高め	やや低め	やや低め	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み

平年偏差＝平均値－平年値

平年値の算出期間

水温，塩分及び透明度：昭和48年（1973）1月～平成13年（2002）12月

溶 存 酸 素：昭和48年（1973）2月～平成13年（2002）12月

水温は，毎月1日の値に補正。

平年並み $0\sigma \leq \text{平年偏差} < 0.6\sigma$ (σ ：標準偏差)

やや高め（やや低め） $0.6\sigma \leq \text{平年偏差} < 1.3\sigma$

かなり高め（かなり低め） $1.3\sigma \leq \text{平年偏差} < 2.0\sigma$

著しく高め（著しく低め） $2.0\sigma \leq \text{平年偏差}$

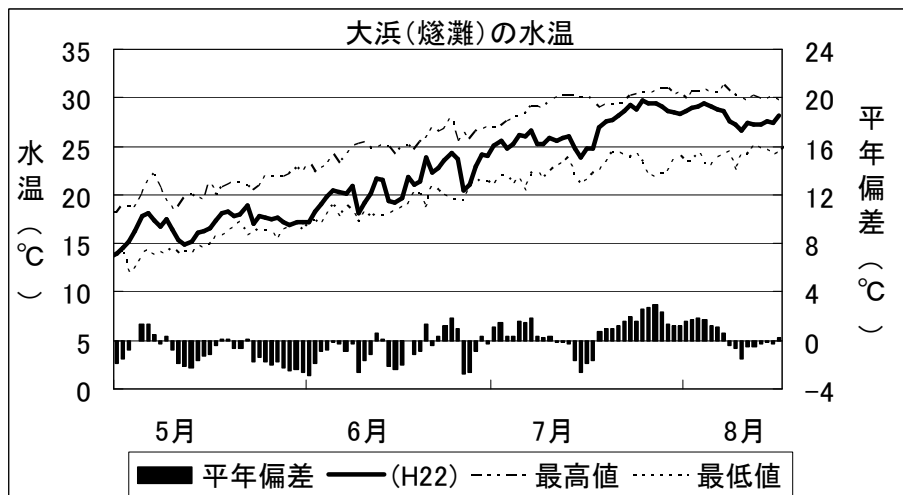
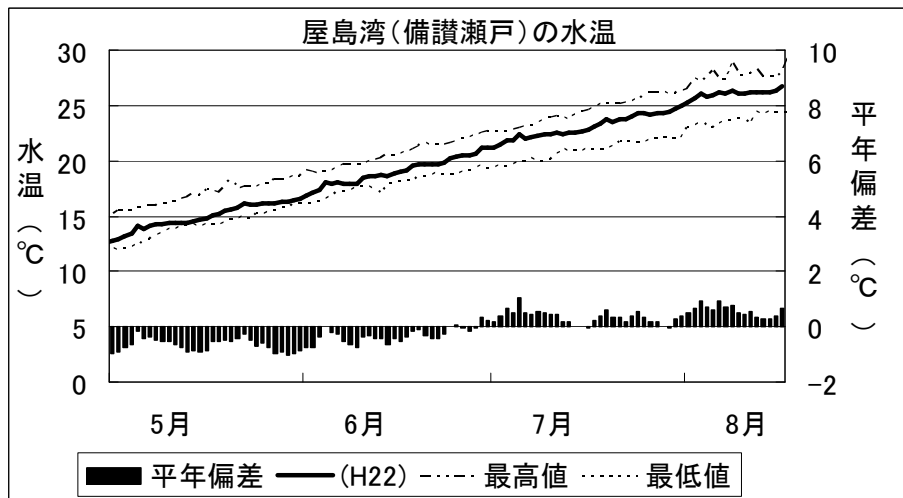
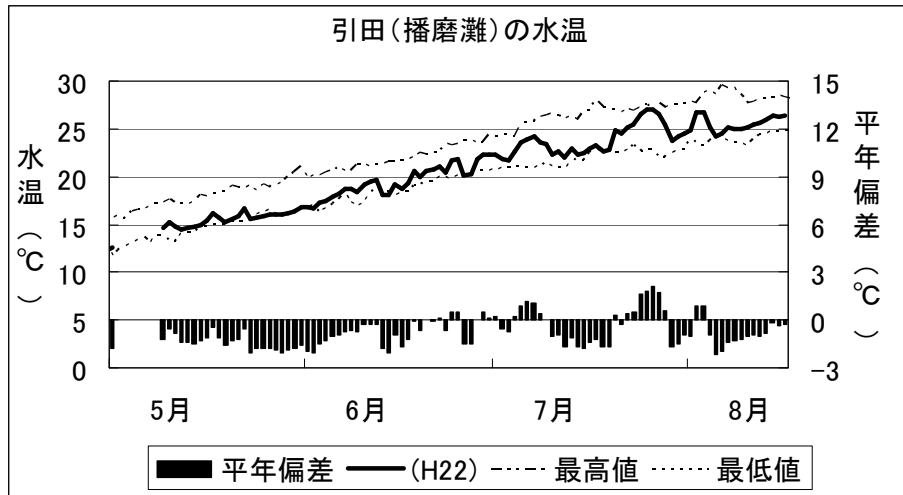
3) 定置観測 (水温)

播磨灘 (引田) : 5月はかなり低めから著しく低め, 6月は著しく低めから平年並み, 7月はかなり低めからかなり高め, 8月はかなり低めから平年並みで推移している。(5月下旬に5日, 6月に5日, 過去最低値を更新。7月下旬に1日, 過去最高値を更新。)

備讃瀬戸 (屋島) : 5月は概ねやや低め, 6月はやや低めから平年並み, 7月は概ね平年並み, 8月はやや高めから平年並みで推移している。

燧灘 (大浜) : 5月はかなり低めから平年並み, 6月はかなり低めから平年並み, 7月は平年並みからかなり高め, 8月はやや高めから平年並みで推移している。(6月下旬に1日, 過去最低値を更新。)

平年値の算出期間 引田及び大浜 : 平成元 (1989) ~平成 21 (2009) 年
屋島 : 昭和 50 (1975) ~平成 21 (2009) 年



4) 赤潮 (7月24日～8月20日)

播磨灘：7月30日に播磨灘南部(引田地先)において *Ceratium furca* による赤潮が、8月2日から4日までの間に、播磨灘西部(屋島湾)において *Chaetoceros sp.* による赤潮が、8月3日から10日までの間に播磨灘西部(橘沖)において *Karenia mikimotoi* による赤潮が、8月6日に播磨灘西部(庵治漁港)において *Heterosigma akashiwo* による赤潮が、8月18日から20日までの間に播磨灘南部海域において *Mesodinium rubrum* による赤潮が確認されている。

備讃瀬戸：発生なし。

燧灘：発生なし。

5) 卵稚仔

調査日：平成22年8月3日(備讃瀬戸, 燧灘), 4日(播磨灘)

出現量

ー：平年値が0の場合を示す。(その他の魚類については平年値がない。)

平年値の算出期間

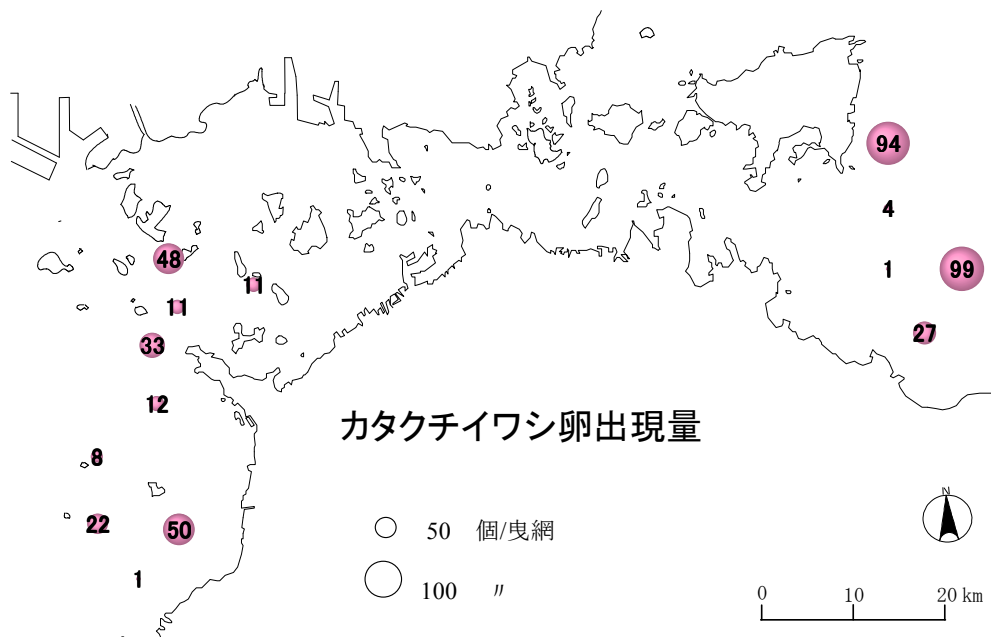
カタクチイワシ：昭和55年(1980)～平成21年(2009)年度

マイワシ：平成5年(1993)～平成21年(2009)年度

イカナゴ：平成7年(1993)～平成21年(2009)年度

		カタクチイワシ		マイワシ		その他の魚類	
		卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘	平均値	28.1	28.8	0.0	0.0	4.3	3.6
	平年値	14.7	7.5	0.0	0.0		
	対平年(%)	192	382	-	-		
備讃瀬戸	平均値	4.7	6.3	0.0	0.0	9.4	12.3
	平年値	1.2	1.2	0.0	0.0		
	対平年(%)	396	547	-	0		
燧灘	平均値	18.0	11.9	0.0	0.0	3.1	6.7
	平年値	23.2	8.3	0.0	0.0		
	対平年(%)	77	143	-	-		
総平均	平均値	14.0	13.6	0.0	0.0	6.6	8.7
	平年値	19.0	8.8	0.0	0.0		
	対平年(%)	74	154	-	0		

各調査点でのカタクチイワシ卵の出現状況は、次のとおりである。



2. 漁況

7月からの漁況は次のとおりである。

海 域	漁 況
播 磨 灘	<p>底びき網では主にマダイ、マアジ、キュウセン、ニベ（コイチ）、シロギス、メイタガレイ、ネズッポ類、ウシノシタ類、マアナゴ、小エビ類、クルマエビ、マダコ、ジンドウイカ、アカニシが漁獲されている。また、マアジ、キュウセン、シロギス、マダコは好調、メイタガレイ、ウシノシタ類は低調、その他の魚種は前年並みである。</p> <p>東讃のしらす船びき網の漁獲量は、7月から好調な漁獲が続いている。</p> <p>建網では主にスズキ、カサゴが漁獲されているが低調である。</p>
備 讃 瀬 戸	<p>底びき網では主にメイタガレイ、アナゴ、フグ類、マダコ、小エビ類、アカニシが漁獲されている。</p> <p>柵網では主にボラが漁獲されている。</p>
燧 灘	<p>底びき網では主にメイタガレイ、マダコ、オニオコゼ、ジンドウイカ類、小エビ類が漁獲されている。</p> <p>柵網では主にスズキ、マアジ、ボラ、アイゴ、イカ類が漁獲されている。</p> <p>いわし機船船びき網における8月中旬までのカタクチ共販量は、1,308t（対前年同期比63%、対平年同期比104%）で、平年並みの漁獲が続いている。</p>